



Title	現代スウェーデン語基本不変化詞動詞リスト作成に向けて
Author(s)	當野, 能之; 梅谷, 綾; 南澤, 佑樹 他
Citation	外国語教育のフロンティア. 2020, 3, p. 291-300
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/75642
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

現代スウェーデン語基本不変化詞動詞リスト作成に向けて

Towards Compiling a List of Basic Particle Verbs in Swedish

當野 能之、梅谷 綾、南澤 佑樹、芝田 思郎

要約

本稿では、スウェーデン語学習者にとって必要な不変化詞および不変化詞動詞のリストの作成に向けて、見出し語となる不変化詞動詞の選定について考察した。不変化詞動詞は「動詞＋不変化詞」から成り、複数の単語で1つの意味を表す「複単語表現 (Multi-Word Expression)」に相当する。したがって、単一の単語に比べて、その頻度を出すことは容易ではない。そこで本稿では、不変化詞動詞の学習書やリストなどとコーパスデータを併用し、必要な不変化詞動詞の選定を行い、暫定的な不変化詞と不変化詞動詞のリストを掲載した。

キーワード：スウェーデン語、不変化詞、不変化詞動詞、句動詞、分離動詞

1. はじめに

本研究はゲルマン系言語で、‘look up’や‘carry out’のような「動詞＋不変化詞 (particle)」から成る「句動詞・不変詞動詞・分離動詞・小辞動詞」などと呼ばれているもののうち、スウェーデン語の「動詞＋不変化詞 (particle)」(以後本稿では、「不変化詞動詞」という用語を用いる) について、これまでの研究成果を教育へと還元しようとするものである。最終的な目標は、スウェーデン語学習において欠かすことのできない不変化詞動詞に関して、コーパスデータなどを活用し学習者に必要な不変化詞および不変化詞動詞を選ぶこと、また、認知言語学などの成果を活用し、不変化詞の意味を学習者にとって分かりやすく説明する方法を開発し、それを「現代スウェーデン語基本不変化詞動詞リスト」として公開することにある。本稿では、上記の2点のうち、不変化詞および不変化詞動詞の選定について考察する。

不変化詞動詞は複数の単語で1つの意味を表すいわゆる「複単語表現 (Multi-Word Expression、以後MWE)」に相当する。コーパス開発の進展にともない、単一の単語の頻度などには容易にアクセスできるようになっているが、複数の語で1つの語彙項目を成すMWEの頻度を出すことは容易ではない。また、不変化詞単体であっても、副詞・前置詞としての用法を持つものもあることから、機械的に付加情報 (アノテーション) を付される場合には、その精度が問題となる。(MWEの自然言語処理における課題についてはSag

et al. (2002)などを参照のこと。)

本稿では、不変化詞および不変化詞動詞の選出に際に使用したコーパス、学習書、語彙集、文法書などについて簡単に解説し、不変化詞の選定と不変化詞動詞の選定の過程について見ていく。

2. 不変化詞動詞について

不変化詞動詞とは動詞と不変化詞からなるまとまりであり、音韻的・統語的に特殊なふるまいを示す。まず、音韻的には、動詞の強勢が弱化し不変化詞が強勢を受け、ユニット強勢 (ordgruppsbetoning) を成す。以下の例文では、₀は動詞 *ät* ‘ate’ に強勢が置かれていないことを、¹は不変化詞 *upp* ‘up’ に強勢が置かれていることを示している。

(1) Han ₀ät ¹upp pannkakan. 彼はそのパンケーキを全部食べた。

また、不変化詞は統語的には動詞の直後、目的語名詞句の前に置かれ、目的語名詞句の後ろに来ることはない。¹⁾

(2) * Han ₀ät pannkakan upp.

ただし、上記の統語的な判断基準は基本的に他動詞文にのみ適用されるものであり、自動詞文では音韻的な基準のみで不変化詞動詞か否かが決定されることになる。

また、不変化詞動詞は、動詞と不変化詞の意味から特定できないイディオムの意味を持つものが多い。例えば、動詞 *hälsa* は「挨拶する」、*på* は前置詞としては「～の上に」という意味を持つが、₀*hälsa på* という不変化詞動詞としては「訪問する」という意味になる。本稿ではこのような不変化詞動詞をイディオムの不変化詞動詞と呼ぶことにする。イディオムの不変化詞動詞の習得はスウェーデン語学習にとって重要であり、5節においてその選定の基準について検討する。

不変化詞は副詞 (*upp* ‘up’, *ner* ‘down’ など) や前置詞 (*i* ‘in’, *på* ‘on’ など) としての用法を持つものが多い。例えば前置詞として用法を持つものの場合、[動詞 + 前置詞] なのか [動詞 + 不変化詞] なのかは音声がない限り、文脈から判断しなくてはならない。

(3) Han ₀hälsade ₀på Sven. 彼はスヴェンに挨拶した。

(4) Han ₀hälsade ₀på Sven. 彼はスヴェンのもとを訪れた。

以上のような理由から、コーパスにおける不変化詞の機械的なアノテーションは困難で

あると考えられる。

なお、不変化詞動詞に関する詳細については Norén (1990)、Teleman *et al.* (1999)、Strzelecka (2003)、Toivonen (2003) などを参照されたい。

3. 語彙集・コーパス・学習書

不変化詞および不変化詞動詞の選定に際して、本研究で参照した語彙集・コーパス・学習書・文法書の特徴について簡単に見ていく。

3.1 SVALex

SVALex は外国語としてのスウェーデン語（Svenska som andraspråk）のための受容語彙（receptive vocabulary）のリストである。²⁾ 外国語としてスウェーデン語の教科書を基にしたコーパスである COCTAILL を用い、CEFR のレベル毎に単語の頻度が報告されている。この語彙集では、不変化詞に関しては PL としてタグ付けされている。また、単一の単語だけでなく、MWE の頻度も挙げられていて、その中には不変化詞動詞も含まれている。

3.2 Parole korpus

Parole korpus は新聞・雑誌・小説などを基にした現代スウェーデン語の書き言葉コーパスで、トークン数は約 1900 万語である。（Parole korpus を含むコーパス検索システムである Korp については Borin *et al.* (2012)、梅谷 (2015) などを参照のこと。）不変化詞についてのタグ付けはなく、不変化詞自体の頻度を見ることはできない。ただし、MWE を検索することは可能で、不変化詞動詞の頻度情報を参照することが可能である。

3.3 不変化詞動詞の学習書

スウェーデン語の不変化詞動詞の学習書には、Bodegård (1993 [1986])、Holmgren Ording (1998)、Almqvist & Moghadam (2007) などがある。また、Hellström (2003) は文法の練習問題集であるが、巻末に不変化詞動詞のリストが掲載されている。日本語では、清水・ラーション・當野 (2016) の教科書に不変化詞動詞のリストが載っている。

Bodegård (1993 [1986]) の巻末には 70 partiklar という不変化詞のリストが掲載されており、かなり網羅的である。また、Holmgren Ording (1998) にはイディオム的不変化詞動詞のリストが 100 頁強、1000 を超える不変化詞動詞が掲載されており、選定の出発点となった。

3.4 記述文法書 SAG

文法書としては Teleman *et al.* (1999) を参照した（以後、SAG と呼ぶ）。スウェーデン語で書かれた最も詳細な記述文法書で、4 巻から成る。不変化詞については第 3 巻第 20 章 § 6-17

に詳細な記述がある。不変化詞については、注の部分も含めると 68 個が掲載されていた。イディオムの不变化詞動詞のリストなどは掲載されていない。

4. 不変化詞の選定

まずは、不変化詞のリストアップから見ていく。参照したのは不変化詞動詞の学習書である Bodegård (1993 [1986])、Holmgren Ording (1998)、日本語で書かれたスウェーデン語教科書清水・ラーション・當野 (2016) および記述文法書の SAG、そして語彙集 SVALex である。以上のソースから全体として 96 個の不変化詞が選出された。

96 個の不変化詞から基本的には SVALex において高頻度のものから順に選定を行った。ただし、SVALex での頻度が低くても、多数のソースに記載されているものは残した。また、SVALex での頻度が高くても、自動アノテーションで信頼度が低いと考えられるものもあり、少数のソースにしか記載されていないものは除外した。具体的な除外の基準は以下の通りである。

- ① SVALex だけに記載のあるもの。これはラベル付けに問題があると考えられるためである。
- ② SAG だけあるいは Bodegård (1993[1986]) の巻末の 70 partiklar にのみ記載のもの。両者には低頻度な小辞も含まれているためである。
- ③ 以下の二点を同時に満たしているもの
(ア) SVALex で AB(=adverb) 以外の品詞でラベルづけられているもの (例: PP (前置詞句))。
これは頻度情報が不変化詞の用法のものと区別できないためである。
(イ) 2 つのソース (SVALex を含む) にしか記載のないもの。

以上の基準で 50 個の不変化詞の選定を行った。リストについては付録 1 を参照されたい。

5. イディオムの不变化詞動詞の選定

イディオムの不变化詞動詞の選定については、SVALex 及び学習書の中で掲載数の多い Holmgren Ording (1998) を元に行なった。具体的には、SVALex で高頻度のイディオムの不变化詞動詞と Holmgren Ording (1998) に掲載されているイディオムの不变化詞動詞 1129 件³⁾から、以下の基準で 247 件に絞り込んだ。

- ① SVALex の不变化詞動詞で頻度が高いものから 150 件
- ② Holmgren Ording (1998) に掲載されてるものの中で、①に当てはまらず、不变化詞動詞の学習書 4 冊 (Almqvist & Moghadam (2007)、Bodegård (1993 [1986])、Hellström (2003)、清水・ラーション・當野 (2016)) のうち 2 冊以上に掲載されているもの 28 件
- ③ Holmgren Ording (1998) に掲載されてるものの中で、上記の①-②のいずれにも当てはまらないが、Parole korpus で頻度が粗頻度 100 以上 (100 万語当たり 4.2 語以上) だっ

たもの69件

以上の基準で247個の不変化詞動詞の選定を行った。リストについては付録2を参照されたい。多義の不変化詞動詞については見出し語を1つにまとめたので、リスト上では224個になった。

6. おわりに

本稿では、スウェーデン語学習に必要な不変化詞および不変化詞動詞の選定について見てきた。また、選定した不変化詞、および不変化詞動詞に関しては、そのリストを付録1と付録2に示した。今後は、これらのリストの精査と意味記述や例文の提示を行っていく。

謝辞

本研究は科研費基盤研究(C)「現代スウェーデン語基本不変化詞動詞リスト作成に関する基礎的研究」(課題番号18K00830、研究代表者當野能之2018-2020)の研究成果の一部である。

注

- 1) 具体的には、動詞句内で動詞の直後目的語名詞句の直前に置かれる。ただし、主節において定動詞 (finite verb) は動詞句の外 (CPやIPの主要部) に位置することから、そのような場合は、統語構造において動詞と不変化詞は隣接しない。
- 2) SweLLexと呼ばれる学習者の作文コーパスを基にした産出語彙 (productive vocabulary) のリストもある。
- 3) 1つの不変化詞動詞に複数の意味が掲載されているものは意味ごとにカウントした。

付録1

不変化詞50のリスト (意味については暫定的な訳を1つのみ与えている。)

av 「離れる」、bakom 「後ろへ」、bort 「向こうへ」、dit 「あちらへ」、efter 「後を追って」、emellan 「間に」、emot 「対峙して」、fast 「固定して」、fram 「前へ」、för 「前を覆って」、förbi 「通り過ぎて」、före 「先に」、hem 「家へ」、hit 「こちらへ」、i 「中へ」、(i) fatt 「追いついて」、i gång 「始動して」、i kapp 「追いついて」、i väg 「出発して」、ifrån 「離れて」、igen 「再び」、igenom 「通して」、ihjäl 「死に至って」、ihop 「合わせて」、in 「中へ」、isär 「離れて」、itu 「二つに」、kvar 「残って」、loss 「はがれて」、med 「一緒に」、ner 「下へ」、om 「回って」、ombord 「乗って」、omkring 「回って」、omkull 「転倒して」、på 「接触して」、runt 「回って」、samman 「一緒に」、sönder 「壊れて」、till 「追加して」、tillbaka 「戻って」、undan 「どかして」、under 「下へ」、upp 「上へ」、ur 「中から外へ」、ut 「外へ」、utanför 「外で」、åt 「～の方へ」、åter 「再び」、över 「超えて」

付録2

イディオムの不変化詞動詞 224 のリスト (意味については暫定的な訳を与えている。)

andas in	息を吸い込む	föda upp	(動物)を育てる、飼育する
backa upp	支援する、支持する	följa upp	(～を)引き続き調べる
bjuda in	(食事などに人を)招く	föra fram	(～を)述べる、申し立てる
blanda ihop	混同する	föra med sig	原因になる、引き起こす
blanda in	巻き込む	föra upp	帳簿を付ける
bli kvar	留まる、残る	ge sig iväg	出発する
bli över	残る、余る	ge sig ut	出かける
bläddra igenom	(本のページを)ぱらぱらめ くる	ge upp	降参する
		ge ut	出版する; 支払う、お金を 出す
bre(da) ut	広げる	gå an	許容できる、さしつかえない
bryta sig in	押し入る、侵入する	gå av	真っ二つになる
bryta upp	(カギなどを)壊す	gå bort	亡くなる; 訪ねる
bygga om	建て替える	gå emot	反対する
bygga ut	増築する	gå hem	成功する、人気になる
bära sig åt	ふるまう	gå igen	化けて出る
börja om	やり直す	gå igenom	体験する; 目を通す
dela med sig	分け与える	gå in	入る、収容する
dela upp	分ける	gå med på	受け入れる、賛成する
dela ut	配る、配達する	gå ner	沈む; 下がる; 減少する
dra av	差し引く、控除する	gå på	(騙されて)信じる、話にの る
dra på	(車などの)スピードを上げる		
dra på sig	(被害などを)被る	gå sönder	壊れる、故障する
dra sig undan	逃れる、免れる	gå till	起こる
dra till sig	引き寄せる	gå under	(船が)沈没する、破壊される
dra upp	(ねじを)巻く	gå upp	起床する; (太陽について) 昇る; (重量や値段が)上が る; 開く・ほどける
dra ut på (tiden)	(時間が)長引く		
driva igenom	押し通す	gå ut	無効になる、期限が切れる
dyka upp	現れる、明らかになる	gå ut på	(～を)目的とする
dö ut	絶滅する	gå åt	消費される、費やされる
falla ner	落ちる	gå över	消える、止む
fara ut mot	(～に)食ってかかる	göra av	置く
flytta ut	(住居などから)引っ越して いく、(国などから)出てい く (引っ越す)	göra om	修正する、やり直す
		göra upp	同意する; 決める
få för sig	思い込む	göra åt	対処する

gripa in	介入する	komma ihåg	思い出す
hinna med	～の時間がある	komma in	（学校や教育課程に）入る、合格する
hitta på	思いつく	komma på	思いつく、思い出す
hjälpa till	手伝う	komma till	誕生する、作り出される
hoppa av	離脱する、脱走する、政治亡命をする	komma tillbaka	戻ってくる
hoppa in	代理を務める	komma upp	出てくる、（話題・質問などが）出る、あがる
hoppa över	省く、省略する、飛ばす	komma ut	出版される；公になる
hyra ut	貸し出す、賃貸する	komma över	（悲しみなどを）乗り越える、立ち直る
hålla av	好きである	komma överens	同意する
hålla fast	拘束する	känna igen	覚えがある
hålla kvar	留まらせる	känna till	知っている
hålla med	賛成する、同じ意見である	köra hem	車で家まで送る
hålla om	抱きしめる、ハグする	köra på	（車を運転して）衝突する、ぶつかる
hålla på	～している最中である；～する寸前である	köra över	（口語的に）人の意見を聞かない；（車で）轢く
hålla på med	～している最中である	låna ut	（～を）貸す
hålla undan	道を譲る、避ける；リードを保つ	låsa in	（～を）入れて錠をする
hålla upp	やめる、止まる	lägga av	（～を）やめる
hålla ut	耐える、我慢する	lägga ner	（店などを）たたむ；（時間、お金などを）費やす
hälsa på	訪ねる	lägga om	変更する；（傷などに）包帯を巻く
hänga upp	吊るす；関連付ける	lägga till	加える、補う、補足する
höra av sig	連絡する	lägga undan	貯める、取っておく
klara av	やり遂げる、うまくやる	lägga ut	立て替える
klara upp	解決する	lära in	（～を）覚え込む
klä på sig	（服を）着る、（装飾品を）身に着ける	lära ut	～について教える
klä ut (sig)	変装する、仮装する	läsa upp	声に出して読む
kolla upp	確認する	lösa upp	分解する
komma av sig	言葉に詰まる、言葉が聞える	måla upp	魅力的に描写する
komma bort	消える	passa ihop	～に合う、釣り合う、マッチする
komma för	（非人称構文で）（考えなどが人の）心に浮かぶ	passa in	適合する、うまく機能する
komma fram	（非人称構文で）明らかになる	peka ut	特定する、（地図などで）指し示す
komma hem	帰宅する		
komma ifrån	持ち場を離れる、距離を置く		
komma igång	始める、とりかかる		
komma igen	持ち直す、立ち直る		

reda ut	解く；解決する	spela upp	音声や映像を再生する、演奏を始める
resa bort	出かける、留守にする	stiga upp	(ベッドから) 起き上がる
reta upp	(人) をいらいらさせる	stoppa ner	(ポケットなどに) 入れる
ropa upp	点呼をとる	stå emot	食い止める、耐える
röra om	かきまぜる	stå till	(非人称構文で) 〜である
se efter	(見て) 確認する；見張る、世話をする	stå ut	耐える
se fram emot	(〜を) 楽しみにする	ställa in	中止する；設定する
se ner på	(人) を軽蔑する	ställa till (med)	(問題) を引き起こす；(パーティーなど) を計画する
se om	世話をする、手当てをする	ställa upp	手伝う、手伝いを申し出る；(競技に) 参加する、エントリーする
se till	〜するように取り計らう	ställa ut	公開する、展示する
se upp	注意する	stänga in	閉じ込める
se upp till	(人) を尊敬する	säga ifrån	抗議する、不満を言う
se ut	〜のように見える	säga till	要望を伝える、(故障や改善点を) 申し出る
sitta fast	くっつく、張り付く、動かない、はまり込む	säga upp	解約する；解雇する
sitta inne	刑務所に入っている	sätta fast	(犯罪者を) 捕まえる
sitta upp	(馬などに) 乗る	sätta igång	始まる、始動させる
skicka ut	送る、送り出す	sätta ihop	組み立てる、(文章などを) 推敲する
skjuta in	口をはさむ	sätta in	銀行の口座などに預け入れる；(〜に) (仕事などを) 教え込む
skjuta upp	延期する	sätta på	電源をつける
skriva ner	書き留める	sätta på sig	(服を) 着る
skriva på/under	署名する	sätta samman	組み立てる
skriva ut	(プリンターなどで) プリントアウトする	sätta sig in i	(〜について) 知る、熟知する
skälla ut	(〜を) どなる	sätta ut	(広告／通知を) 出す
slå av	(機器などを) 消す	ta av	脱がせる、取る
slå fast	断言する	ta bort	除去する
slå igen	閉じる	ta efter	(振る舞いを) まねをする
slå igenom	認められる、有名になる	ta emot	迎える、受け取る、受け入れる
slå in	包む、包装する；現実になる	ta fram	取り出す；開発する
slå sig ner	座る、腰を下ろす	ta i	力を入れる
slå ut	咲き出す、開花する	ta igen	(遅れを) 取り戻す
släppa ut	外に出す		
spara ihop	(〜を買うために) お金を貯める		
spela in	録画・録音する；(映画等を) 撮影する；演奏してお金を稼ぐ		

ta igen sig	休む、休憩する	tycka om	好きである
ta in	受け入れる、取り入れる；（縫つて）詰める；（ホテルに）泊まる	tänka efter	（行動の前に）よく考える
ta itu	2つに分ける；取りかかる	tänka om	意見を変える、考え直す
ta med	持って／連れて来る、持って／連れていく；算入する、入れる	tänka ut	（何らかの結論に）考え抜いて達する、考え出す
ta ner	（物を）下ろす；こきおろす	vara med	参加する、（話などに）ついていく
ta om	繰り返す、やり直す	vara till för	（ある目的の）ためにある／いる
ta på sig	（服を）着る	veta om	耳にしている、話に聞いている
ta sig an	引き受ける、面倒を見る	visa upp	提示する、見せる
ta sig fram	（字義的／比喩的に）前進する、前に進む	välja ut	選び出す
ta sig ut	（ある印象を伴って）見える	vända om	引き返す
ta till sig	（知識などを）咀嚼する、（批判などを）取り入れる	värma upp	（～を）温める、ウォーミングアップする
ta ut	取り出す；引き出す；お金を取る；選ぶ	växa upp	大きくなる、（子どもから大人へと）成長する
ta vid/åt sig	（言葉などを真に受け）傷つく	åka dit	（口語的に）捕まる
ta över	（責任などを）引き継ぐ	åka fast	（口語的に）捕まる、逮捕される
tala om	（～について）伝える、語る	äta upp	食べつくす、後悔する
titta in	訪問する、遊びにくる		
tråka ut	飽きさせる		

参考文献

Almqvist, Anna & Mahiyar Moghadam

2007 *Språklära: Partikelverb. Blå pist.* 1. uppl. Stockholm: Natur & kultur.

Bodegård, Anders

1993 [1986] *Tänk efter: verb + partikel = partikelverb.* 5. uppl. Stockholm: Almqvist & Wiksell.

Borin, Lars, Markus Forsberg & Johan Roxendal

2012 'Korp – the corpus infrastructure of Språkbanken'. In: *Proceedings of LREC 2012*. 474–478.

Hellström, Gunnar

2003 *Grammatikövningar med regler och kommentarer för sfi.* 1. uppl. Stockholm: Almqvist & Wiksell.

Holmgren Ording, Hans

1998 *Se upp!: Svenska partikelverb.* 1. uppl. Stockholm: Natur och kultur.

Norén, Kerstin

1990 *Svenska partikelverbs semantik.* Göteborg: Acta Universitatis Gothoburgensis.

Sag, Ivan A., Timothy Baldwin, Francis Bond, Ann Copestake & Dan Flickinger

- 2002 'Multiword Expressions: A Pain in the Neck for NLP.' In: Gelbukh Alexander. (ed) *Computational Linguistics and Intelligent Text Processing. CICLing 2002. Lecture Notes in Computer Science*, vol 2276. 1-15. Berlin, Heidelberg: Springer.

Strzelecka, Elzbieta

2003. *Svenska partikelverb med "in", "ut", "upp" och "ner": En semantisk studie ur kognitivt perspektiv.* Uppsala: Uppsala universitet.

Teleman, Ulf, Staffan Hellberg, Erik Andersson & Lisa Holm

- 1999 *Svenska akademiens grammatik 3 Fraser.* Stockholm: Svenska akademien.

Toivonen, Ida

- 2003 *Non-projecting words: A case study of Swedish particles.* Dordrecht: Kluwer.

François, Thomas, Elena Volodina, Ildikó Pilán, & Anaïs Tack

- 2016 'SVALex: A CEFR-graded lexical resource for Swedish foreign and second language learners.' In: *Proceedings of LREC 2016.* 213–219.

清水育男・ラーション ウルフ・當野能之

- 2016 『世界の言語シリーズ 12 スウェーデン語』. 大阪：大阪大学出版会.

梅谷綾

- 2015 「コーパス検索システム Korp の基本使用方法：現代スウェーデン語コーパスを中心に」.
『IDUN – 北欧研究 –』. vol. 21. 161–178, 大阪大学言語文化研究科言語社会専攻デンマーク語・スウェーデン語研究室.

コーパス等

Parole korpus: <https://spraakbanken.gu.se/swe/resurs/parole>

SVALex: <http://cental.uclouvain.be/svalex/>